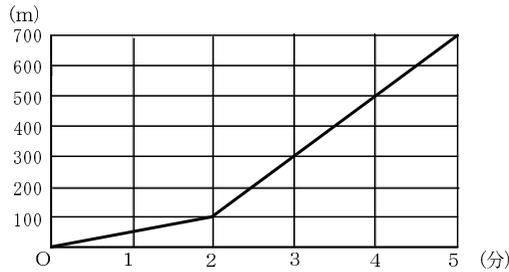




山本先生

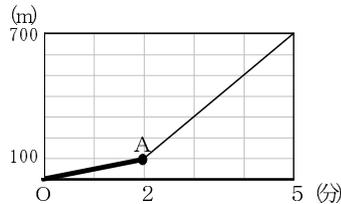
今日は、時間と距離の関係を表したグラフから速さを求める方法を考えましょう。

問題：家から700m離れた公園まで行きました。下の図は、家を出発してからの時間と、進んだ距離の関係を表したグラフです。



- (1) 上のグラフから、家を出発して2分後までは100mを一定の速さで進んだことが分かります。家を出発してから2分間進んだ速さは毎分何mですか。
- (2) 家を出発して2分後の地点から公園まで行ったときの速さは毎分何mですか。

山本先生 まず、家を出発してから2分後まで（グラフの太線の部分）の速さについて考えてみましょう。右のグラフで家を出発してから2分後を表す座標をAとします。



けんさん

100m進んだから毎分100mだよ。

でも、点Aは家から2分後の座標だよ。



あやさん

山本先生 そうだね。点Aは、家を出発して2分間で100m進んだことを表しています。では、もう一度速さを求めてみましょう。

100×2で毎分200mかな。



けんさん

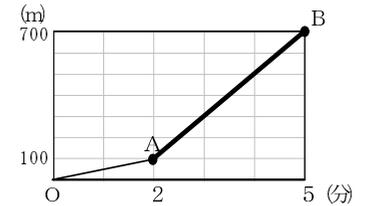
ちょっと待って。
速さは1分あたりに何m進むかということだから、
(速さ) = (距離) ÷ (時間)
で求められるわ。



あやさん

けんさん そうか。2分間で100m進んでいるから、 $100 \div 2 = 50$ となって、速さは毎分50mだ。

山本先生 そうですね。次は、家を出発して2分後の地点から公園まで行ったとき（グラフの太線の部分）の速さを考えてみましょう。右のグラフで家を出発してから5分後を表す座標をBとします。



けんさん

点Bは5分後に700m進んだことを表しているから、 $700 \div 5 = 140$ で速さは毎分140mです。

そうかな？グラフの太線の部分は点Oから始まっていないわよ。



あやさん

けんさん あっ、そうか。太線の部分は点Aから始まっているね。
あやさん 点Aは2分後に100mの地点にいることを表していたわ。
けんさん だから、2分後の地点から公園まで行ったときにかかった時間は、 $5 - 2 = 3$ で3分と分かるよ。
あやさん 2分後の地点から公園までの距離は、 $700 - 100 = 600$ で600mと分かるわ。
山本先生 ではもう一度正しい速さを求めてみましょう。
けんさん $600 \div 3 = 200$ だから、速さは毎分200mです。
山本先生 そうですね。速さを求めるのに必要な時間と距離を、グラフからよみとることができるようにすることが大切です。時間と距離の関係以外にも、地表からの高さや気温との関係や、自分の住んでいる町の電気料金や水道料金のしくみなど、グラフで表される身近な事象はたくさんあります。調べてみましょう。

【出題】本問は、平成19年度全国学力・学習状況調査 数学A12を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域＝数量関係
- ・評価の観点＝(1)数量・図形などについての知識・理解
(2)数学的な表現・処理
- ・平均正答率＝(1)全国(公立) 74.9%
奈良県(公立) 76.6%
(2)全国(公立) 61.0%
奈良県(公立) 61.8%

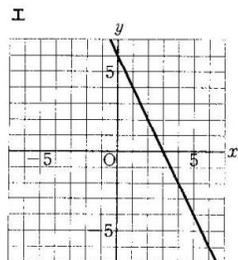
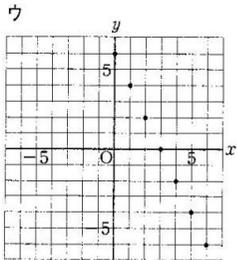
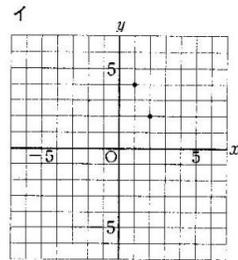
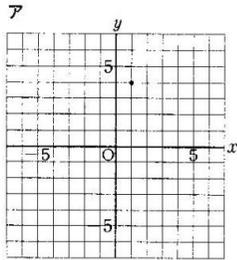
- 主な誤答例
- (1) 毎分100mと解答している。
毎分200mと解答している。
 - (2) 毎分100mと解答している。
毎分140mと解答している。



山本先生

今日は、次の問題を考えましょう。

下のアからエまでの中に、二元一次方程式 $2x + y = 6$ の解を座標とする点の全体を表したものがあります。それを1つ選びなさい。



やすさん

アの点は(1, 4)だから、 $2x + y$ に、 $x = 1$ 、 $y = 4$ を代入すると $2 \times 1 + 4 = 6$ になるから、答えはアだと思います。

はるさん

イに(2, 2)という点があります。 $2x + y$ に $x = 2$ 、 $y = 2$ を代入すると、 $2 \times 2 + 2 = 6$ になります。

やすさん

そうか。他にもたくさんありそうだね！

はるさん

そうね。表にまとめてみたらどうかしら？

やすさん

$x = 0$ のとき、 $y = 6$ です。同じように $x = 1$ のとき、……

そうかな。他にも x 、 y の値の組がありそうよ。



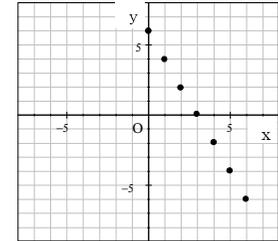
はるさん

x	0	1	2	3	4	5	6
y	6	4	2	0	-2	-4	-6

となるね。

山本先生 上の表の x 、 y の値の組を座標とする点をとってみましょう。

やすさん 右のようになります。

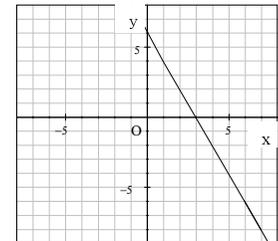


だから、答えはエです。

はるさん x 、 y の値は整数だけじゃなくて、例えば、 $x = 1.5$ 、 $y = 3$ も解になるわね。

やすさん $x = 2.5$ 、 $y = 1$ も解になります。

はるさん x 、 y の値の組を座標とする点を、どんどん多くとっていくと、これらの点の集まりは、右の図のような直線になりそうね。



あっそうか！ $2x + y = 6$ の解は無数にあって、その点の集まりは、直線になるんだ。



やすさん

答えは、エです。直線上にあるすべての点が $2x + y = 6$ の解となっていて、 x 、 y の値の組は無数にあります。

山本先生

よく考えました。二元一次方程式 $2x + y = 6$ の解を座標とする点の集まりは直線として表されますね。また、二元一次方程式 $2x + y = 6$ を y について解くと、 $y = -2x + 6$ となるので一次関数となっており、そのグラフは、傾き -2 、 y 軸上の切片が 6 の直線であることがわかりますね。

【出題】本問は、平成21年度全国学力・学習状況調査数学A12を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域＝数量関係
- ・評価の観点＝数量、図形などについての知識・理解
- ・平均正答率＝全国(公立) 35.9%

奈良県(公立) 40.8%

主な誤答例 エと解答している 41.9%



今日は、グラフからいろいろな情報をよみとりましょう。

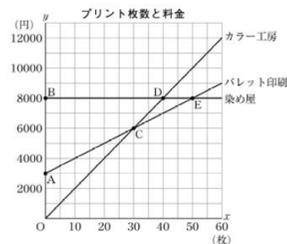
山本先生

康平さんの所属するテニス部ではオリジナルTシャツを作ることにしました。そこで、無地のTシャツを持ち寄って、店にプリントを頼もうとしています。右の表は3つの店の料金をまとめたものです。

店	料 金
カラー工房	Tシャツ1枚につき200円です。
パレット印刷	製版代が3000円で、Tシャツ1枚につき100円追加されます。
染め屋	Tシャツ60枚までは何枚でも8000円です。

製版代は、プリントするときの元になる版をつくるために必要な料金のことです。

康平さんはプリントする枚数によってどの店の料金が安くなるかを調べるために、Tシャツを x 枚プリントしたときの料金を y 円として店ごとの x と y の関係を、次のようにグラフに表しました。



康平さんの所属するテニス部でオリジナルTシャツの希望枚数をきいたところ、全部で35枚でした。Tシャツ35枚のプリント料金が最も安い店は、それぞれの店の料金を計算しなくてもグラフから判断できます。その方法を説明しなさい。

グラフの35枚のところを見ればわかるよ。



まささん

でも、グラフの35枚のところをどのように見るのかしら？



はるさん

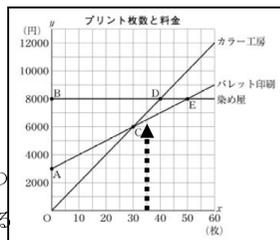
山本先生 はるさんが疑問をもつように、まささんの説明では不十分です。グラフを使って判断する方法を説明してみましょう。

まささん 35のところが一番最初にある直線を見ればわかるよ。

はるさん 一番最初にある直線ってどういうこと？

そして何がわかるの？

まささん 一番最初にある直線とは、右の図のようにx軸の35のところから上方向にたどっていき、一番最初に現れるグラフのことだよ。そのことから、最も安い店がパレット印刷だとわかるよ。



山本先生 それでは、グラフを使って判断する方法について、数学的な表現を使ってまとめましょう。この場合、方法を的確に説明するときには、何がどのように表されているかを明確にすることが大切です。

まささん 三つのグラフの中で、xの値が35のときのyの値が最も小さいグラフで表された店を選びます。

はるさん 三つの直線の中で、x座標が35のときの点が最も下にある直線で表された店を選びます。

山本先生 そうですね。二人ともよくできました。ところで、グラフ上の点A～Eはどのようなこと



まささん

表しているでしょうか。

点Aは、パレット印刷の製版代が3000円であることを表しているよ。

点Cは、カラー工房とパレット印刷のプリント料金が、どちらも30枚のときに6000円になることを表しているよ。30枚ならどちらの店に頼んでも同じ料金になるんだね。

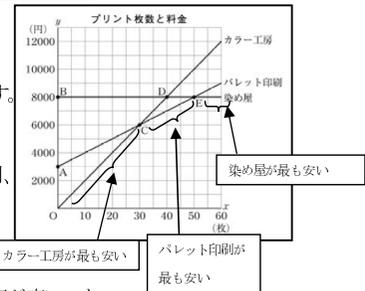
はるさん 点Dはカラー工房と染め屋のプリント料金が40枚のときに8000円、点Eはパレット印刷と染め屋のプリント料金が50枚のときに8000円になることを表しています。まささん ということは、プリント料金が最も安い店は29枚までではカラー工房、31枚から49枚までではパレット印刷、51枚以上では染め屋となるんだね。

はるさん カラー工房とパレット印刷のグラフの傾きを比べるとカラー工房の方が傾きが大きいのので、一枚あたりの単価が高いのね。

まささん カラー工房は1枚あたり単価が200円で、パレット印刷は1枚あたりの単価が100円だね。

はるさん 染め屋はグラフがx軸に平行な直線なので、プリント料金が枚数によらず一定であることもわかります。

山本先生 今日は、Tシャツのプリント枚数と料金のグラフから、いろいろな情報をよみ取りました。グラフは視覚的に比較することができます。日常的なことから考察にグラフを活用し、そのよさを実感しましょう。



はるさん

【出題】本問は、平成22年度全国学力・学習状況調査 数学B3(2)を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域＝数量関係
- ・評価の観点＝数学的な見方や考え方
- ・平均正答率＝全国(公立)29.1%
奈良県(公立)28.0%

(正答の条件)

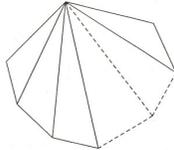
- 次の(a)、(b)または(a)、(c)について記述しているもの。
- グラフ上でx座標が35である点に着目すること。
 - 上記(a)に対応するyの値を比較すること。
 - 上記(a)に対応する点の位置の上下を比較すること。

- 主な誤答例
- ・(a)、(b)または(a)、(c)について、記述が十分でないもの。 22.2%
 - ・(a)、(b)、(c)についての記述はないが、グラフに着目しているもの。 8.3%
 - ・無解答 27.2%



今日は、内角の和を求める公式の意味について学習しましょう。

下の図のように、 n 角形は1つの頂点からひいた対角線によって、いくつかの三角形に分けられます。



このことから、 n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n-2)$ で表すことができます。この式の $(n-2)$ は、 n 角形において何を表していますか。下のアからオの中から1つ選びなさい。

- ア 頂点の数
- イ 辺の数
- ウ 内角の数
- エ 1つの頂点からひいた対角線の数
- オ 1つの頂点からひいた対角線によって分けられた三角形の数



n 角形の内角の和を求める式だから、 $(n-2)$ は内角の数を表してるよ。答はウだよ。



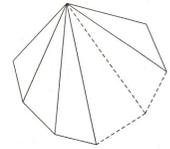
でも n 角形の内角は n 個じゃないの。

ひろさん： n 角形なのに、内角の和を求める式に、なぜ $(n-2)$ があるのかな？
 ゆきさん：問題にあるアからオの数を三角形から順に調べてみようよ。
 山本先生：それはいいですね。表にまとめて整理すると分かりやすいですよ。

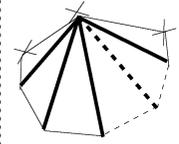
ひろさん：これでいいかな。

	三角形	四角形	五角形	六角形
ア 頂点の数	3	4	5	6
イ 辺の数	3	4	5	6
ウ 内角の数	3	4	5	6
エ 1つの頂点からひいた対角線の数	0	1	2	3
オ 1つの頂点からひいた対角線によって分けられた三角形の数	1	2	3	4

ゆきさん では、 n 角形ならどうなるかな。
 ひろさん アの頂点の数、イの辺の数、ウの内角の数はすべて n になるね。だから、ア、イ、ウは答じゃないね。
 ゆきさん エの1つの頂点からひいた対角線の数は、上の表から考えると頂点の数より3だけ少なくなってるよ。だから n 角形なら $(n-3)$ だね。これも答ではないね。
 オの1つの頂点からひいた対角線によって分けられた三角形の数は、 $(n-2)$ になるよ。



山本先生 n 角形の1つの頂点からひいた対角線の数は表から考えることもできるし、次のように考えることもできます。



n 角形の1つの頂点から対角線をひくには、頂点は n 個ありますが、その頂点自身とその頂点の両隣の頂点にはひけません。だから、 n 個の頂点のうち、3個の頂点へは対角線はひけないので $(n-3)$ 本の対角線が1つの頂点からひけることになります。その対角線に分けられる三角形の数は $(n-3)+1$ で $(n-2)$ 個になります。

ひろさん なるほど、そうか！ n 角形は1つの頂点からひいた対角線によって $(n-2)$ 個の三角形に分けられるんだね。
 だから n 角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ の「 180° は三角形の内角の和」のことで、三角形が $(n-2)$ 個あるから、それらをかけると n 角形の内角の和が求められるんだね。
 答はオだね。

山本先生 そうです。答はオです。
 では、この n 角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ を使って、十角形の内角の和を求めてみましょう。

ひろさん 十角形の内角の和は、
 $180^\circ \times (10-2)$
 $= 180^\circ \times 8$
 $= 1440^\circ$ 答は 1440° です。

【出題】本問は、平成20年度全国学力・学習状況調査 数学A6(2)を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域=図形
- ・評価の観点=数量、図形などについての知識・理解
- ・平均正答率=全国(公立)46.1%

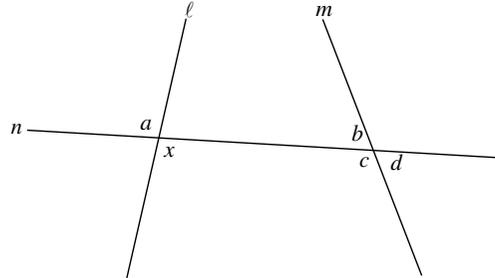
奈良県(公立)44.8%
 主な誤答例 アと解答 14.0%
 イと解答 9.4%
 ウと解答 18.8%
 エと解答 10.0%



今日は、同位角の意味について考えてみましょう。

山本先生

次の図のように、2つの直線 l 、 m に1つの直線 n が交わっています。このとき、 $\angle x$ の同位角について、下のアからオまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。



- ア $\angle x$ の同位角は $\angle a$ である。
- イ $\angle x$ の同位角は $\angle b$ である。
- ウ $\angle x$ の同位角は $\angle c$ である。
- エ $\angle x$ の同位角は $\angle d$ である。
- オ $\angle x$ の同位角は $\angle a$ から $\angle d$ までの中にはない。



同位角とは、同じ位(くらい)の大きさの角を考えることになるから、アが答えになるはずだよ。

まさきくん

でも $\angle x$ と $\angle a$ は対頂角というのよ。

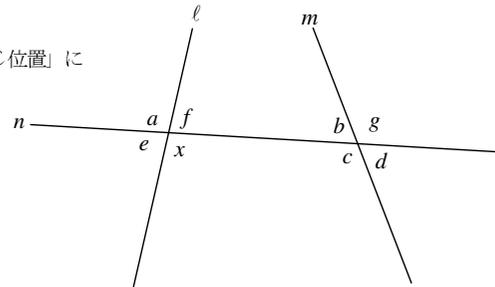


はるかさん

山本先生 同位角とは、2つの直線に1つの直線が交わってできる8つの角のうち、2つの角の位置関係を表す用語です。だから、同位角の「同位」を「同じ位置」というように読み取ることになります。

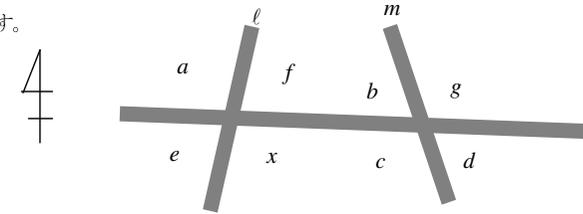
まさきくん 「同じ位置」？それでは、「同じ位置」にある2つの角をどのように考えるのですか？

はるかさん 問題の図で、残りの角にも記号 (e , f , g) を付けましょう。



山本先生 ここで地図を思い浮かべてください。下の図のように直線 l 、 m 、 n はまっすぐに伸びた道路だとします。そうすると、道路 l と n 、道路 m と n の交わったところは交差点となります。 a 、 e 、 x 、 f は道路 l と n によって区切られた土地で、 b 、 c 、 d 、 g は道路 m と n によって区切られた土地とします。このとき、交差点を基準にして「東、西、南、北」の4方向を用いて、土地のおおまかな位置を表すことができます。例えば、下

の図を上が北となる地図とすると、 a であれば「北西」の土地、 c であれば「南西」の土地と言えます。このような見方が同位角という「同じ位置」を読み取る際にも用いられるのです。



x は「南東」の土地になるよ。

まさきくん

もう一方の交差点では、「南東」の土地は d になるよ。



はるかさん

あっそうか！！ $\angle x$ の同位角は $\angle d$ になるんだね。

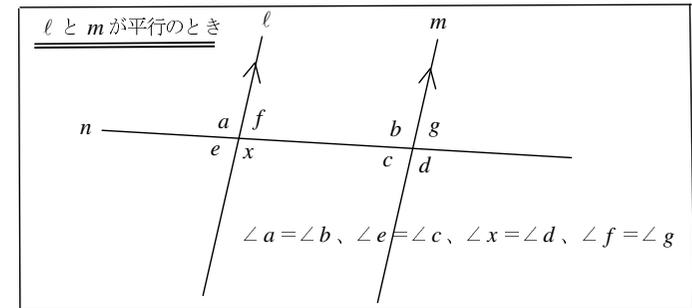
山本先生 そう、この問題の答えはエですね。他の角の同位角もわかりますか？

まさきくん はい、 $\angle a$ と $\angle b$ (「北西」の土地)、 $\angle e$ と $\angle c$ (「南西」の土地)、 $\angle f$ と $\angle g$ (「北東」の土地) が同位角です。

はるかさん 同位角は全部で4組あるのね。

まさきさん 同位角はいつでも大きさが等しい角と思ったのですが、ちがうのですね。

山本先生 同位角は2つの角の位置関係を一般的に表すものであり、いつでも角の大きさが等しいわけではありません。問題の図では、同位角はどの組も大きさが等しくありません。角の大きさが等しくないから同位角ではないのではなく、同位角が等しくなる場合もあります。下の図のように、直線 l と m が平行であるときに限って、同位角は等しくなります。



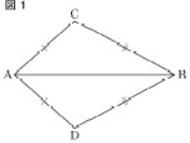
【出題】本問は、平成21年度全国学力・学習状況調査 数学A 6 (1) を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域=図形
- ・評価の観点=数量、図形などについての知識・理解
- ・平均正答率=全国(公立) 42.4% 奈良県(公立) 41.2%

主な誤答例 ・アと解答している 22.9% ・オと解答している 22.8%
 ・ウと解答している 8.2%

山本先生 今日、証明の意義について学習しましょう。

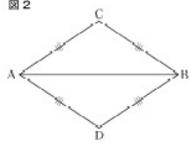
① ある学級で、図1について、「 $AC=AD$ 、 $BC=BD$ ならば $\angle ACB=\angle ADB$ である」ことを、下のように証明しました。



証明

$\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ において、
 仮定から、 $AC=AD$ ……①
 $BC=BD$ ……②
 共通な辺だから、 $AB=AB$ ……③
 ①、②、③より、3辺がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABC \equiv \triangle ABD$
 合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle ACB = \angle ADB$

この証明のあと、図2のように AC 、 AD 、 BC 、 BD の長さがすべて等しい場合についても、同じように $\angle ACB=\angle ADB$ となるかどうかを考えてみたところ、下のアからエまでのような意見が出ました。正しいものを1つ選びなさい。



ア 図2の場合も、 $\angle ACB=\angle ADB$ であることは、すでに前ページの証明で示されている。

イ 図2の場合には、 $\angle ACB=\angle ADB$ であることを、改めて証明する必要がある。

ウ 図2の場合には、 $\angle ACB=\angle ADB$ であることを、それぞれの角度を測って確認しなければならない。

エ 図2の場合には、 $\angle ACB=\angle ADB$ ではない。



けんさん

図2は二等辺三角形なので、もう一度証明しなければならないよ。

三角形の形は違うけど、どちらの証明も同じにならないのかな？



あやさん

あやさん 図2の証明をしてみるよ。

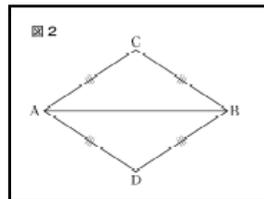
$\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ において、
 仮定から、 $AC=AD$ ……①
 $BC=BD$ ……②
 共通な辺だから、 $AB=AB$ ……③

①、②、③より、3辺がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABC \equiv \triangle ABD$$

合同な図形の対応する角は等しいから、

$$\angle ACB = \angle ADB$$



けんさん あれっ！さっきの図1の証明とまったく同じだ！

あやさん どうして同じ証明でいいのかしら。

山本先生 $\angle ACB=\angle ADB$ がいえるのは、 $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ が合同であり、「合同な図形の対応する角は等しい」からですね。

では、 $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ が合同というのは何が根拠になっているかな？

けんさん 三角形の合同条件の「3辺がそれぞれ等しい」が根拠になっています。

あやさん あっそうか！証明の①、②、③の条件が成り立てば三角形の形がちがってもこの証明と同じになるということだね。

けんさん 図1の三角形が図2の二等辺三角形に変わったので証明に使われる条件も変わると思ったけど、条件は同じなんだね。

あやさん 図3、図4、図5の場合でも同じ証明で $\angle ACB=\angle ADB$ が成り立つということね。

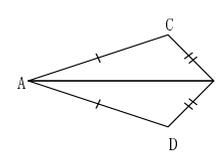


図3

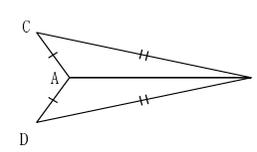


図4

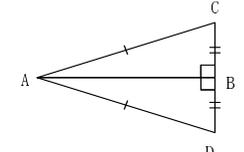


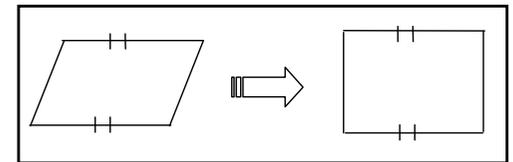
図5

けんさん 図1の仮定 ($AC=AD$ 、 $BC=BD$) を満たすように三角形の形を変えたり、新たな条件を加えたりしても同じ結論が成り立つのね。

あやさん この問題では、アの意見が正しいということね。

山本先生 そうですね。仮定を満たすように新たな条件を付け加えた図形では、もとの図形で成り立っていた性質はそのまま成り立つので、それを改めて証明する必要はありません。

例えば平行四辺形の向かい合う辺が等しいことが証明できていれば、平行四辺形の特別な形である長方形についても向かい合う辺が等しいことは改めて証明する必要はありません。



【出題】本問は、平成22年度全国学力・学習状況調査問題 数学A 8を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域＝図形
 - ・評価の観点＝数量や図形などについての知識・理解
 - ・平均正答率＝全国(公立)48.7% 奈良県(公立)48.6%
- 主な誤答例 イと解答しているもの 37.2%



山本先生

今日は、確率の意味について考えてみましょう。

1の目が出る確率が $\frac{1}{6}$ であるさいころがあります。このさいころを投げるとき、どのようなことがいえますか。下のアからオの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 5回投げて、1の目が1回も出なかったとすれば、次に投げると必ず1の目が出る。
 イ 6回投げるとき、そのうち1回は必ず1の目が出る。
 ウ 6回投げるとき、1から6までの目が必ず1回ずつ出る。
 エ 30回投げるとき、そのうち1の目は必ず5回出る。
 オ 3000回投げるとき、1の目はおよそ500回出る。



まさきくん

6回投げると、1の目が必ず1回出るはずだよ。

本当に6回投げるとき、必ず1回は1の目がでるのかな。



はるかさん

山本先生 あることがらの起こりやすさの度合いを表す数を、そのことがらの起こる確率といいます。確率の求め方はこうだったね。

$$\text{Aのことがらの起こる確率} = \frac{\text{Aのことがらの起こる場合の数}}{\text{起こり得るすべての場合の数}}$$

それでは、さいころを投げるとき1の目が出る確率を考えてみましょう。

はるかさん さいころを投げるとき、1から6の目のどれかが出るから、起こり得るすべての場合は6通り（分母の数）ね。そして、1の目が出る場合は1通り（分子の数）なので、1の目が出る確率は $\frac{1}{6}$ だね。

まさきくん 1の目が出る確率が $\frac{1}{6}$ だから、さいころを6回投げるとそのうち1回は必ず1の目が出るはずだよ。だから答えはイだ！

はるかさん 本当に6回投げると、そのうち1回は必ず1の目が出るのかしら。1の目が1回も出なかったりすることはないのかな。

まさきくん きっと、さいころを6回投げると、1だけでなく2から6の目も必ず1回ずつ出るよ！すると、答えはアかウかな？

はるかさん うーん、何かおかしくないかしら？

山本先生 ここに、さいころがあるから実験してみましょう。

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
出た目の数	2	3	6	5	1	4



まさきくん

ほら、僕の考えた通りだよ。

偶然じゃないかな？



はるかさん

山本先生 もう一度実験してみましょう。



	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
出た目の数	3	6	3	2	5	4



まさきくん

あれ、どうしたのかな？

1の目が1回も出なかったよ。



はるかさん

山本先生 あることがらの確率とは、そのことがらの起こりやすさの度合いを数で表したものです。この実験では、さいころを投げる回数が少ないですが、実験の回数を増やすと、1の目の出る割合は $\frac{1}{6}$ になると考えられます。

まさきくん オで3000回投げるときは、1の目は何回出ると考えられるのかな。

はるかさん 1の目が出る確率が $\frac{1}{6}$ だから、さいころを3000回投げるとき $\frac{1}{6} = \frac{500}{3000}$ となって、およそ500回は1の目が出るということね。

まさきくん エの「必ず5回出る。」もおかしいから、答えはオだ！さいころを6回投げるとき、1の目が出るときもあるし、出ないときもあって、必ず1回は1の目が出るわけではないんだ。

はるかさん さいころを多数回投げたとき、1の目の出やすさの度合いが $\frac{1}{6}$ となるんだね。

【出題】本問は、平成19年度全国学力・学習状況調査 数学A14(1)を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域＝数量関係
- ・評価の観点＝数量・図形などについての知識・理解
- ・平均正答率＝全国(公立) 49.2%

奈良県(公立) 55.5%

主な誤答例 イと解答している 27.1%

ウと解答している 10.1%



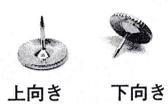
今回は「画びょうが上向きになる程度」を考えましょう。

山本先生

次の問いに答えなさい。

次のようなAとBの画びょうがあります。この2種類の画びょうを投げるとき、どちらが上向きになりやすいかを実験で調べました。

Aの画びょう



Bの画びょう



下の表は、Aを1500回、Bを2000回投げた結果です。

	上向きの回数	下向きの回数	投げた回数
A	831	669	1500
B	1073	927	2000

どちらの画びょうが上向きになりやすいかを調べるには、この結果をどのように比べればよいですか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 上向きの回数を調べる。
- イ 下向きの回数を調べる。
- ウ 上向きの回数と下向きの回数の差を調べる。
- エ 投げた回数に対する上向きの回数の割合を比べる。



AよりもBのほうが上向きの回数が多いよ。

ゆうさん

Bは投げた回数もAより多いわよ。



あやさん

ゆうさん Bのほうが上向きの回数が多いから、Bのほうが上向きになりやすいよ。だから、アの「上向きの回数を調べる。」だよ。

あやさん ちょっと待って。Bは投げた回数も多いから、上向きの回数だけでは比べられないよ。

ゆうさん そうだね。下向きの回数を調べても、AとBの投げた回数がちがうから、上向きになりやすいかどうかは比べられないよ。だからイもちがいます。

あやさん だったら上向きの回数と下向きの回数の差を調べるといいのかな。

ゆうさん 計算してみようよ。

あやさん Aは $831 - 669$ を計算すると162で、Bは $1073 - 927$ を計算すると146です。わかったぞ！ Aのほうが上向きの回数と下向きの回数の差が多いから、Aのほうが上向きになりやすいんだ。だから答えはウです。

山本先生 右の表で考えてみるとどうなるかな。

ゆうさん 上向きと下向きの回数の差はCのほうが多いから、Cのほうが上向きになりやすいです。

山本先生 Dの投げた回数は700回ですね。あと700回投げると、投げた回数がCと同じになりますが、その場合上向きの回数はどれくらいになりそうですか。

あやさん 最初に投げた700回と同じ回数だけ投げるから、上向きの回数は $500 + 500 = 1000$ 回くらいになりそうです。

ゆうさん Cの上向きの回数は900回だから、Dのほうが上向きの回数が多くなるよ。答えはウではないんだ。

あやさん 投げた回数と上向きの回数を比べているわね。



あっ、そうか！ 投げた回数のうち上向きの回数がどれだけあるのかを比べればいいんだ。

ゆうさん

山本先生 そうですね。投げた回数に対する上向きの回数の割合を比べることになります。上向きの回数の割合は、画びょうを投げた回数のうち、上向きの回数がどれだけあるかという率を考えればよいので

$$\text{上向きの回数の割合(率)} = \text{上向きの回数} \div \text{投げた回数}$$

で求めることができます。

あやさん 上向きの回数の割合は、Aの画びょうでは $831 \div 1500 = 0.554$ で、Bの画びょうでは $1073 \div 2000 = 0.5365$ になります。

ゆうさん Aのほうが割合が大きいの、Aの画びょうのほうが上向きになりやすいです。

あやさん 問いの答えはエです。

山本先生 そうですね。「画びょうが上向きになる」というようなことがらを事象といいます。事象が起こる程度を比べるには、その事象の起こる回数が全体の回数に占める割合(率)に着目することが大切です。

【出題】本問は、平成21年度全国学力・学習状況調査 数学A13(1)を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域=数量関係
- ・評価の観点=数量、図形などについての知識・理解
- ・平均正答率=全国(公立)73.2%
- 奈良県(公立)74.4%

主な誤答例 ウと解答している。 15.3%



今日は、次の問題について考えましょう。

山本先生

A、B、C、Dの4チームがバレーボールの試合をします。どのチームも他のすべてのチームと1回ずつ試合をします。このときの全部の試合数を求めなさい。



まさきくん

Aチームは、Bチーム、Cチーム、Dチームと対戦することになるね。



はるかさん

各チームごとの試合数は同じだよ。

まさきくん Aチームは、Bチーム、Cチーム、Dチームと対戦するから、3試合行うことになるね。他のチームも同じように考えれば、3試合ずつ行うことになるよ。

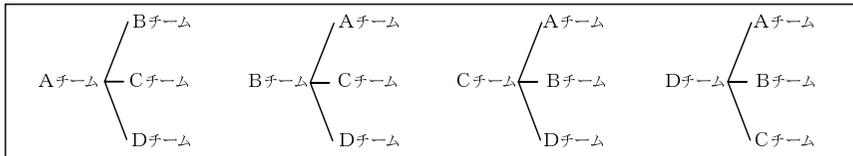
はるかさん そうすると、全部の試合数は3(試合)×4(チーム)だから、12試合になるわ。

山本先生 それでは、その12試合をすべてあげてみましょう。

まさきくん Aチーム対Bチーム、Bチーム対Cチーム、Cチーム対Dチーム、Bチーム対Aチーム、それから、……。あー、わからなくなってきたよ。

はるかさん 全部の試合をきちんとあげるために、何か良い方法はないかしら。

山本先生 全部の試合をきちんとあげるためには、考えられる試合を順序良く整理しなければいけません。その際に使われる方法の1つに**樹形図**があります。ちょうど木の枝分れの様子に似ていることから、この名がついたようです。下の樹形図から、全部の試合数は12試合となるでしょうか？



まさきくん

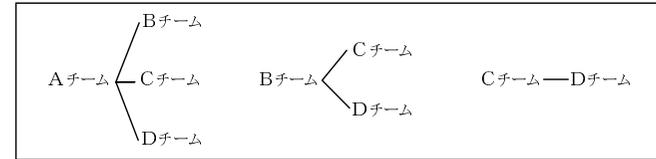
あっ、「Aチーム対Bチーム」と「Bチーム対Aチーム」は同じ試合だ！



はるかさん

他にも同じ試合があるわよ。

はるかさん 同じ試合の一方を省くと、下のような樹形図になるよ。



山本先生

じゃ、全部で何試合かな？



まさきくん



はるかさん

6試合です！

山本先生 全部の試合を順序よく整理するもう1つの方法を説明します。それは次のような**表**を使います。たとえば、①のマスを「Aチーム対Bチーム」とすると、①'のマスは「Bチーム対Aチーム」となり、同じ試合です。

	Aチーム	Bチーム	Cチーム	Dチーム
Aチーム		①	②	③
Bチーム	①'		④	⑤
Cチーム	②'	④'		⑥
Dチーム	③'	⑤'	⑥'	



まさきくん

同じ試合がすぐ分かるね。



全部の試合が1つの表にまとめられるわ。

まさきくん たとえば、②の「Aチーム対Cチーム」と、②'の「Cチーム対Aチーム」は同じ試合だね。

はるかさん この表を見ると、全部の試合数は①～⑥の**6試合**と分かります。

山本先生 その通りですね。樹形図や表を用いて場合の数を求めることは、例えば5人の生徒の中から係を2人選ぶ場合は何通りあるかを考えたり、大小2つのさいころを投げるときの出る目の数の和を考えたりする場合など、いろいろな場面で用いられます。

【出題】本問は、平成19年度全国学力・学習状況調査 数学A14(2)を参考にしました。

- ・学習指導要領の領域=数量関係
- ・評価の観点=数学的な表現・処理
- ・平均正答率=全国(公立) 67.6%
- 奈良県(公立) 71.4%
- 主な誤答例 12と解答している 14.1%